

応募書類の書き方

03 自己紹介書

まだ職務経歴の無い方は、履歴書と併せて、自己紹介書を作成しましょう。
アルバイトや学生時代のこと、資格の勉強経験などから、
あなたの強みをよりアピールすることができます。



1 職務経歴(アルバイト)

これまでのアルバイト経験(社名、期間、職務内容)を記載してください。

2 資格など

取得資格について記載してください。また、税理士試験科目については、まだ取得してなくても、受験予定・受験済みのものは記載してください。「どういった計画で資格取得を目指しているのか」は重要な選考材料になります。

3 自己PR

自分の長所を挙げるときは具体例・エピソードも併せて記載しましょう。また、税理士業務と直接かかわらなくとも、「接客業のアルバイトで培ったコミュニケーション能力」や、「部活動で得た忍耐力・継続力」など、共通して発揮できる能力に着目すると、自己PRとして成立します。

4 志望動機

「何故税理士を目指したのか」、そして「これからどんな税理士になりたいのか」を文章に落とし込んでください。なかなか思い浮かばない方は、自己分析や業界研究が足りていないかもしれません。そもそも簿記や会計に興味を持ったきっかけを思い出してみる、税理士とはどんな職業か?どんな仕事をしているのか?を調べてみるなど、特に重要な項目なので、少し時間をかけて考えてみてください。この書類を作成することが、そのまま面接対策にも繋がります。

自己紹介書

2021年12月18日現在
氏名 大原 太郎

■ 職務経歴(アルバイト)

株式会社大原フード 2018年4月～現在
職務内容:ホールでの接客、キッチンでの調理補助、レジ業務、スタッフのシフト管理など。

■ 資格など

・日商簿記2級(2018年11月)
・全経上級(2019年11月)
・税理士科目簿記論(2020年12月) ※税理士科目の取得月は合格発表の「12月」
・今年は財務諸表論と法人税を受験しました。
・これまでに消費税の受験経験があります。

■ 自己PR

私の長所は相手のことを思いやってコミュニケーションが取れることと、目標に向けて努力を続ける力です。大学入学から続けているアルバイトではバイトリーダーとして、後輩の育成に取り組んできました。その際にただ仕事を教えるだけでなく、なぜそれをするのかを理解できるまで丁寧に説明することを心がけ、ミスしてしまった場合には何がダメだったのかを一緒にしっかりと振り返るようにしました。また、お客様からも接客についてお褒めの言葉をいただくことも多く、その結果後輩からも社員の方からも信頼されるようになりました。
また、小学生から高校生まで10年間続けたサッカーでは、もともと補欠選手でしたが、毎朝5kmのランニングや誰よりもボールを蹴って練習し、体のメンテナンスも念入りにすることを続けていくうちに、高校最後の大会では毎年1回戦負けだったチームを、キャプテンとして大阪ベスト8まで勝ち進めることができました。

■ 志望動機

私の父は自営業をしています。経営者として仕事をしている父を非常に尊敬していますが、日々悩んでいる姿もたくさん見てきました。経営者というのは孤独で、従業員や家族にもなかなか相談はできません。父や、父のように悩んでいる人たちの力になれる仕事はないか、そう思ったのが税理士を志したきっかけです。勉強してきた会計や税務の知識を活かしたいのはもちろんですが、経営に関すること以外でも、何でも相談してもらえる、本当の意味でのパートナーになれるような税理士を目指しています。

以上

自己紹介書のポイント

- A4用紙1～2枚程度に収めましょう。パソコンでの作成が基本です。
- 簡潔な文章で見出しやレイアウトを工夫して読みやすくしましょう。
- まだ職務経歴の無い方の場合、こういった自己紹介書などを通して、「Wordなどを使ったビジネス文書の作成ができるかどうか」を判断されることがあります。誤字・脱字はもちろん、文字のフォントやサイズが揃っているかなど、しっかり確認しましょう。